

水稲品種「まなむすめ」におけるいもち病の発生

農業センター

1 取り上げた理由

水稲品種「まなむすめ」は良食味であり、耐冷性や耐倒伏性とも強く、普及が期待されている。さらにいもち病に対するほ場抵抗性の強さをコスト削減や減農薬による市場評価の向上につなげていくため、主要品種である「ひとめぼれ」の基幹防除並みに発病を抑制するための防除回数を検討したところ、成果が得られたので参考資料とする。

2 参考資料

無防除で栽培した「ひとめぼれ」のいもち病が中発生程度の条件下で「まなむすめ」を栽培した結果、無防除であっても「ひとめぼれ」に対して薬剤5回防除（葉いもち2回、穂いもち3回茎葉散布）を行った場合とほぼ同等にいもち病が抑制される。

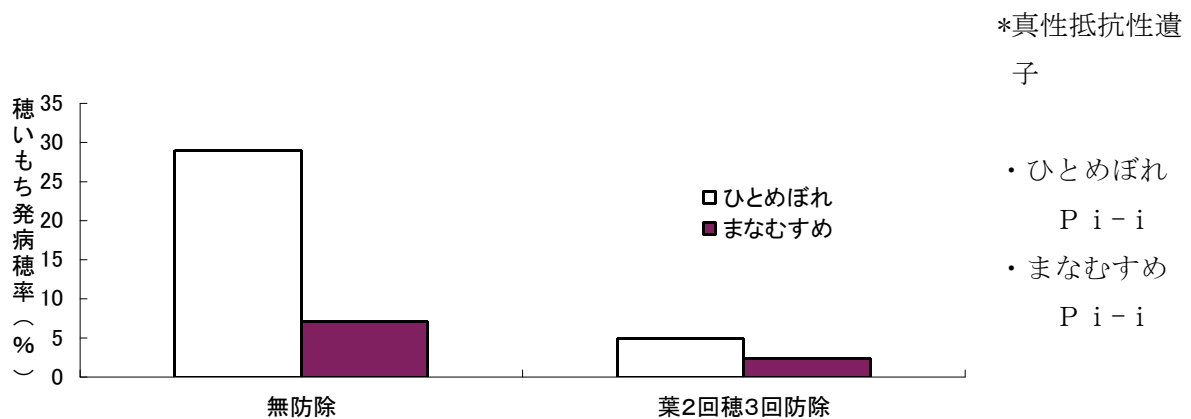


図 まなむすめはいもち病抑制効果

3 利活用の留意点

- 1) いもち病多発生時には、圃場抵抗性だけで発病を抑えることは難しいので、多発生が予想されるときは防除を要する。

4 背景となった主要な試験研

1) 研究課題名及び研究期間 病害虫発生要因の究明と防除法の検討 平成10年

2) 参考データ

試験場所：農業センターほ場，田植月日：5月11日，出穂期：8月9日

元肥：窒素4.0kg/10a，追肥：窒素1kg/10a，罹病苗設置：6月24日

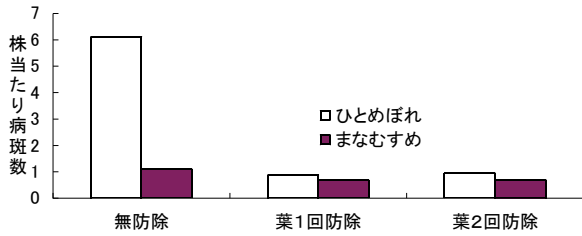


図-1 葉いもちに対する品種間差

葉1回防除

7/13 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10

(葉いもち全般発生期)

葉2回防除

7/13 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10

7/23 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10

(葉いもち発生最盛期)

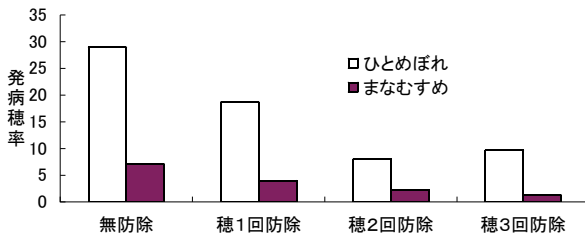


図-2 穂いもちに対する品種間差

穂1回防除

8/4 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10a

(出穂直前)

穂2回防除

8/4 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10a

8/12 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10a

(穂揃い期)

穂3回防除

8/4 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10a

8/12 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10a

8/20 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10a

(傾穂期)

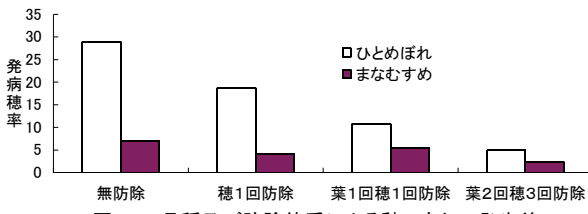


図-3 品種及び防除体系による穂いもちの発生差

穂1回防除

8/4 ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10a

葉1回穂1回防除

7/13, 8/4 ラブサイトゾル1000倍液

150^{リットル}/10a

葉2回穂3回防除

7/13, 7/20, 8/4, 8/12, 8/20

ラブサイトゾル1000倍液150^{リットル}/10a